

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

自発・自律型エビデンスに基づく Bathing Navigation の実現

4. 研究開発代表者名

早坂 信哉(東京都市大学 人間科学部児童学科 教授)

5. 評価結果

入浴事故死の半減を目指す本研究開発は、社会に大きなインパクトを与えうる重要な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、各種メディアを通じた社会への発信が積極的に実施され、企業や自治体を巻き込んだ研究開発の取り組み状況から、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、入浴事故の湯温データ等を収集することが医学的見地に立った入浴事故原因解明につながるかどうか不明瞭であり、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上